

# 小池あきらら都知事の誕生で 新しい福祉都市・東京へ



2月15日 アミュール立川にて  
激励を受ける小池あきらら都知事候補

「革新都政をつくる会・三多摩連絡会」は15日、福祉都市・東京の実現を掲げる小池あきらら都知事候補を先頭に要求をもちより、共同を広げ、都政を変えようと、「春を呼ぶ三多摩のつどい」をアミュール立川で開催、800人以上が集まり熱気に包まれた集いになりました。

主催者あいさつに続いて「医療・保育・教育・建設・女性・スポーツ」など各分野から都政への願い・闘う決意が語られました。

最後に小池あきららさんが「政治に失望し怒りを持っているみなさんに政権交代とは

こういうものだ」と示す選挙にしたい」と意気込みを語ると、会場は大きな拍手に包まれました。

小池氏は都の財政規模は12兆円と韓国の国家予算に匹敵すると紹介。2500億円あれば75歳以上の医療費無料化、1万人分の特養ホームや2万人分の認可保育所、年間1千戸の都営住宅建設などができるとし、「新しい福祉都市東京に、まったく別の東京をつくる」と呼びかけました。

花束や寄せ書きが小池あきららさんに手渡され、大きな拍手が響きました。

## <小池あきらら氏の略歴>

1960年生まれ。東北大学医学部を卒業、小豆沢病院、代々木病院に勤務。全日本民主医療機関連合会理事。  
1998年～2010年7月まで参議院議員2期。  
予算理事議運委理事、日本共産党参議院議員団長を勤める。  
2004年から日本共産党政策委員長。2011年2月「革新都政をつくる会」から要請を受け、都知事選挙に無所属で出馬表明。



発行 日本共産党国立東後援会  
たんぽぽの会 No 593  
連絡先 042(577)4169  
2011年2月27日 (部内資料)

日本共産党配布のアンケートにご協力下さい

## 東地域に響く

## 尾張みやこカー



いま尾張みやこさんは、伝カで「しんぶん赤旗」の魅力語り、雇用問題・TPP問題などを訴えています。また国立市政について「駅周辺のまちづくりに153億円もかけて道路を貫通し、駅前広場、8階建てビル建設を国立市民はほんとうに望んでいるのでしょつか」と問い「市民のくらしを優先し、駅前はできるだけお金をかけないで、旧駅舎の復原や土地代がかからない中央線高架下に、市の行政窓口や駅前図書館、自転車置き場の設置を」また「東地域にもコミバスを」と呼びかけています。

東地域で呼びかける尾張みやこ市議予定候補

## 日本共産党が関口市長に指摘

政策協定に(4年前)

## 大型開発・公共料金値上げ策は暮らし第一のそっていない

2月16日、日本共産党市議団と北多摩中部地区委員長中村誠氏は、関口市長に会い、4年前の関口博氏と中村誠氏の「国立市長選挙に関する協定書」について話し合いました。

中村氏は、関口氏との協定書で「市民のくらしが脅かされているとき市民のくらし第一の市政を守る」と、「大型開発型のまちづくりを抑えること」が明記されていると示しました。

また日本共産党が行っている「市民アンケート」では「暮らし向きが苦しくなった」との回答が約60%となっており、市民の生活実態を紹介しました。

「来年度予算案で都市計画道路1億7千万円を組んでいるが、これは抜本的に見直し、凍結をすべき」と「公共料金の値上げについては、厳しい市民生活を守るために抑えるべきではないか」と質しました。

関口市長は、「1、都市計画道路はすすめる。2、いま考えている公共料金の値上げは適正である」旨の

## 国立市長選挙に関する協定書(抜粋) 政策の基本

- ・市民の暮らし、平和が脅かされているとき、市民の暮らし第一の市政、平和憲法を守る市政へとさらに前進させます。
- ・大型開発型のまちづくりをおさえ、水と緑を生かした国立らしいまちづくりをすすめる、国立駅舎の保存と大学通りの景観を守ります。

回答をしました。日本共産党は、関口市長の態度は、市民への公約にも違反しているし4年前の日本共産党との協定にそっていないと指摘しました。

日本共産党は、今後住民本位の立場を貫く市政の実現に向けて、市民の方たちと協議を進める考えです。